

新規受託開始及び受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、新たに受託開始及び受託中止をさせていただきますこととなりましたので謹んでご案内申し上げます。

先生方には何卒ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■新規受託開始項目および実施日

【実施日】2023年3月31日(金) ご依頼分より開始

項目コード	検査項目	提出量(mL)	容器	保存	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
4533	甲状腺刺激抗体(TSAb)	血清 0.3	A	冷蔵	3~5	340 免疫	Bio assay	110 未満 (%)	溶血検体でのご依頼は避けてください。 (溶血検体では、測定値が低値となる可能性があります。) ⑫&1

■受託中止項目及び最終受付日

【最終受付日】2023年3月30日(木) ご依頼分をもって受託中止

項目コード	検査項目	検査案内掲載ページ	備考
3168	TSH 刺激性レセプター抗体(TSAb)	P28	新規項目受託開始に伴い、受託を中止させていただきます。

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

● 甲状腺刺激抗体(TSAb)

甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症(無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎)との鑑別診断に有用です。

甲状腺機能亢進症におけるバセドウ病は TSH 受容体抗体(TRAAb)によって発症します。TSH 受容体抗体には刺激型と阻害型の 2 種類があり、このうち刺激型は TSH 受容体に対してアゴニストとして作用し、甲状腺細胞膜中の adenylyate cyclase 活性を刺激し、甲状腺内のサイクリック AMP(cAMP)産生を増加させるバセドウ病の原因物質と考えられます。甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症(無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎)との鑑別診断に有用です。

▼疾患との関連

バセドウ病

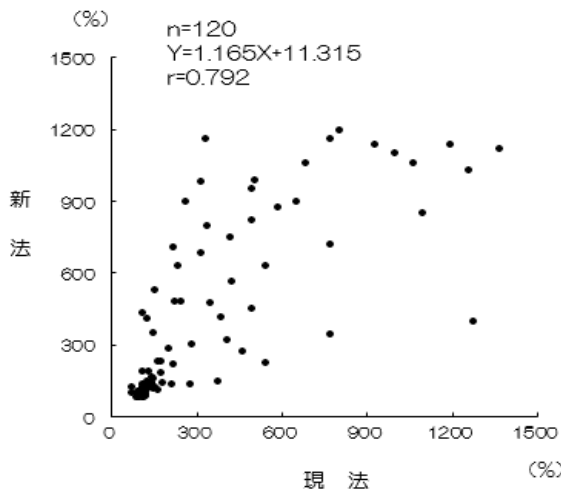
▼関連する主な検査項目

TSH レセプター抗体(定量)
TSBAAb(TSH レセプター抗体[阻害型])
TSH レセプター抗体[CLEIA]

● 相関図

区分	項目コード	検査方法
新法	4533	Bioassay
現法	3168	Bioassay EIA

TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb)



相関一致表

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	50	0
	陽性	8	62

一致率: 93.3% (n=120)

現法=3168: TSH刺激性レセプター抗体
新法=4533: 甲状腺刺激抗体

● 参考文献

1. 測定法: 田上 哲也, 他: 糖尿病・内分泌代謝科 53(5):479~486, 2021.
2. 臨床意義: 上條 桂一, 他: 医学と薬学 79(9):1199~1207, 2022.